

## ニーズのまとめ（主訴及び支援の方向性）

作成日 H29 年 7 月 7 日

氏 名 北山 優子 様

主訴	(思いの要約から) 一人暮らしをしたい。
----	-------------------------

	各生活領域の項目	アセスメント票から導き出される気づいたこと・気になること（押さえておくこと）・可能性など	ニーズ
各生活領域における支援の方向性	生活の場について	一人暮らしを望んでいるが、金銭的に難しい事が分かり、グループホームから始める事になる。将来的に一人暮らしを目指せないだろうか。	親から離れて暮らしたい
	日常生活について	日常生活は自立している。食事作りは家族の夕飯も作れる。料理は好き。書類関係は難しい内容は両親に相談している。	料理のレパートリーを広げたい
	日中の主な活動の場について	地域活動支援センターに通所している。パウンドケーキなど作って販売している。	ケーキを作る仕事がしたい
	趣味や生きがい、レクリエーションなどについて	パソコンは得意。友達との買物などを楽しみにされている。EXILEのライブには行きたいと思っはいるが、一緒に行ってくれそうな友達はいなく、どう進めていいかが分からない。ライブ会場までもどう行けばいいか分からない。	EXILEのライブに行きたい
	相談したり日常生活を支えてくれる人について	両親との関係も良好で近所づきあいも良好。お友達もたくさんいるので困った場合はそれぞれに相談できると思われるが、今後自分らしく生きていくために福祉制度を利用する時に、制度の内容や利用方法をその都度説明する必要がある。	福祉の事を相談できる人が欲しい
	中長期的な支援の方向性	優子さんの希望する生活に向かっていくために、優子さんの出来ることから提案していきます。収入が十分増えれば一人暮らしも可能と思われませんが、まずはグループホームの生活に慣れて頂くよう支援致します。収入は、「一般就労」か「福祉就労+年金」の方向性を模索します。	

再アセスメントまでの期間	平成 29 年 8 月 1 日 ～ 平成 30 年 7 月 31 日
--------------	------------------------------------